

学校運営協議会実施報告書（兼）議事録

狛江第三中学校長 岩瀬 敏郎

和泉小学校長 鷺見 真太郎

会議	令和__6年度第__2回__三中ゾーン学校運営協議会
実施日時	令和__6年__12月__9日 __17時__00分 ～ __18時__20分
実施場所	狛江市立狛江第三中学校 2階会議室
1 出席者	岩瀬 敏郎 鷺見 真太郎 丸島 寛範 白井 誠 峯岸 政夫 羽曾部 陽 森 勇貴 山口 あずさ 恒松 克治 毛塚 敬進 繁平 光伯 片柳 久美子 綾田 結貴
2 欠席者	細野 誠治 大久保 慶吾 小野 良平
3 傍聴	0 名
4 議題	1、委員長挨拶 2、副委員長挨拶 3、事務局から（小中副校長）※資料「三中ゾーン今年度の取り組み」 4、各校より（小中主幹教諭） 5、三中ゾーンの取り組みについて意見交換 6、学校関係者評価についてお願い 7、第3回の日程調整 8、三中からのお願い（職業講話について）
5 内容	※別紙のとおり

※校長印は不要

※内容は簡潔に箇条書き

※内容は別紙添付も可

令和6年12月9日(月) 学校運営協議会

1. 委員長挨拶

羽曾部：最近通勤経路を変え、京王線と小田急の接続が悪いなど今まで気づかなかったことにも気づくことができました。台風があり、花火大会ができなかったのは残念でしたが、みなさん良くやっています。

2. 副委員長挨拶

岩瀬校長：夏からの地域行事に参加させていただきました。地域で目指す子供の姿に向かっているか考えたとき、郷土を愛する心が育っていると思います。子供たちが様々な場面で活躍する姿を見させていただきました。子供の授業を見ていただく機会が少なかったのが心残りですが、これからもよろしくお願いします。

鷺見校長：花火ができなかったのが実に残念でした。ドッチボール大会、餅つき大会がありますので多くの方に参加していただきたいと思っています。中学生が和泉小学校にくることに抵抗を感じていないのはこのコミュニティの良い特徴だと思っています。中学生が肝試しなどの機会に参加してくれると三中ゾーンらしくなっていくのだと思います。この地域だから実現できるのだと思っています。学校愛、地域愛をつけさせて中学校へ上げていこうと考えています。

3. 事務局から(副校長)

設楽：岩瀬校長が示した地域カレンダーに三中ゾーンとしての取り組みについて書かれています。実現できていない課題もありますが、実現できたものも沢山あります。

淋：今度餅つきも計画しています。和泉小、三中の連携した行事としてやっていきたいと思っています。学童が旧畑に作られている。来年度ランチルームが開くので教室に入り辛い生徒が来られる場所を整備しようと思っています。現在申請を出しています。詳しいことが決まりましたらお知らせしようと思っています。出前授業などについては教務よりお伝えします。今後ともよろしくお願いします。

4. 各校より(2学期の児童・生徒の様子)

井嶋(三中生活指導主任)：登下校も含め沢山の支援をいただきやってくることができました。いじめ不登校についてお話しします。いじめの案件についてはみなさまの支援もありやってくることができました。大まかなトラブルについては、コミュニケーションの苦手さ、SNSの誹謗中傷などが挙げられます。不登校は昨年に比べ激減してきています。参加できる教科のみ参加して帰る、リフレクシオンルームでリモート授業を見て帰る生徒もいます。子供たちの登校の改善が見られます。努力するところが見られています。今月下旬にダンス発表会がありますが、ここ三年体育の中でやってきています。驚くことが何点かありました。子供たちの教えあいの中で、踊れない生徒もそのアプローチにより踊れるようになったり、不登校の生徒でも何故か参加できています。不登校の生徒も他の生徒とコミュニケーションが取れるようになっていきます。舞台上で発表することを楽しみにしている様子を感じています。これをヒントに不登校生徒と接触するヒントになればと考えています。

設楽：今のダンスについてはすでにスクリーン送っています。12月19日、23日に設定されていますので是非ご参観下さい。

石橋(和泉小教務)：和泉小学校、英検、畑などご協力ありがとうございました。子供たちがまた和泉小に帰

ってくる姿を見られるのはとても嬉しいことです。たくさんの出前授業を行い、いろいろなことを学んでいます。落語などもやりました。市民祭にも6年生鼓笛で参加させていただきました。今年度畑が移動し、9月に秋の苗を植え、ホウレンソウなどを収穫し、本日給食で食べることができました。子供たちは喜んでしました。「自ら行動する児童」ということで取り組んできました。現在「自分たちで作る学校」をテーマで取り組んでいます。班で給食を食べたいなどの意見が出てきて、試しに班で食べてみたりしています。子供たちが考え、実行していく取り組みをこれからも続けていきたいと思っています。

関（和泉小生活指導主任）：一小から異動してきて、子供たちが多くの人と関わりながら活動している印象がありました。軽微ないじめも逃さず対応するように心がけています。子供は1日400回、大人は15回笑顔でいると言われていています。和泉小学校チームで取り組むこと、自分たちの手で学校を運営していくこと、を実践しています。先生がたが児童に寄り添っている様子を見ています。居場所、雑談を大事にしている。雑談が談笑に変わり子供たちが大人からの愛情を感じられるようになっていきます。先生が話を聞いてくれると感じるようになり、子供からの相談も増えてきています。子供同士、先生同士の話も増えてきています。ノーチャイムで時間を意識しながら生活していたり、全員の子供と面談したり、WEBQUなども行っています。認知件数は市内で最も多く教育委員会に挙げている学校です。様々な角度からチェックを行っています。保護者も学校と協力しながらやってきています。

堀口（主幹教諭）：着任して6年になりますが、子供たちが変わってきているのを感じています。短い時間でより良いものに視点を置いてやってきています。今できることを地域の力を借りながらやってきています。

5. 意見交換

羽曾部：三中近くには公共的な施設があり、そこに行ってみても良いのではと、閃きで申し訳ありませんが、考えました。歴史的なことなど何ができるか考えてみました。

設楽：中学校の場合はなかなか難しいかなとは思いますが。計画がないと難しいと思います。

淋：小学校では地域探検などで行ってはいますが、単発的な印象はあります。

鷲見校長：現在関わってくれる人を模索しています。コミュニティーソーシャルワーカーが社会復帰支援などを行っています。南部地域センターで本校の保護者がやっています。いろいろな子の居場所にしたいと思っています。2月の会で更に詳しく披露できるとと思っています。

繁平：サマー和泉の日などもっとより地域に入れる機会があれば良いと思っています。関われる機会を増やしていきたい。地域でやっているイベント事業に、やる気がある子供たちが入れる機会が作ればもっと子供たちが伸びるのではないかと考えています。

岩瀬校長：生徒が企画することで多くの成長があると思っています。子供たちも満足感を得られるようです。

鷲見校長：起業化教育のプログラムがある。実際に子供たちが企画をしたものを販売する取り組みも検討しています。

毛塚：こだま幼稚園には小・中学生が集まれる場所が提供できると思う。違う中学校で私が教員をやったとき、

怪我など保険の問題などでできなくなった。狛江の子育て会議の場でそのような対応はやめてほしいと伝えた。そのような機会をなくさないでほしい。子供たちを外に出すことも大事です。

設楽：開催時間の検討 17時ではなく14時に来校いただき、生徒の活動の授業風景をみていただきたい。

6. 学校関係者評価のお願い

学校評価アンケートを2学期中に集約し、学校運営協議会の方々へ結果を郵送します。ご意見を事務局へ返信いただき、まとめたものを第三回の開催案内とともに郵送いたしますのでご協力お願いいたします。

第三回の予定を決めたいです。2月の後半ぐらいで予定を組んでいきたいと考えています。2月後半にお送りします。

三中からの協力のお願い。職業講和（対面ラウンドテーブル形式）を1年生で実施します。

森（地域コーディネーター）： わたしでよければやります。

設楽副校長：2月13日（木）時間は5・6時間目 13:35～15:35 幅広くいろいろな人材を集めたいと思います。ご協力お願いいたします。

白井：最近この会議に出ていて感じているのですが、もっとざっくばらんに意見がだせる場になるとよいと思います。

峯岸：和泉のお化け屋敷に中学生が来たり、お年寄りの中で中学生がダンスを踊ったり、様々な企画が考えられるのではないのでしょうか。